

## IAAA NEWS

IWATE ADVERTISING AGENCIES ASSOCIATION NEWS

発行 岩手県広告業協会

[事務局]〒020-0871

岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目4-22

中ノ橋106ビル5F (株式会社コスモピーアル内)

TEL. 019-624-6890

編集 広報PR委員会

## 理事長あいさつ



岩手県広告業協会  
理事長 林 徹氏

今年4月の総会で9代目の理事長に選任されました。改めまして皆様どうぞよろしくお願いたします。

当協会は平成元年4月に岩手の広告文化の普及発展を通じて、業界各社との連携を図りながら、経済活動の活性化と県民生活者の快適な暮らしづくりに寄与することを目的に創立され、37年目となります。会員社・特別賛助会員社・賛助会員社の皆様には日頃よりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

今、社会は急速に変化しています。デジタル化やAIの進展は情報が伝わる速さも、届け方の形も劇的に進化させています。人口減少や消費行動の変化など地域社会を取り巻く課題も少なくありません。しかし、この大きな変化は同時に新しい発想や挑戦を生み出すための土壌でもあると感じます。私たち広告業界にとって重要なのは、変化を恐れるのではなく、未来を予見し、創造的な挑戦に踏み出す姿勢だと考えます。特にこれからの社会を担う若い世代は、デジタルを駆使し、自分の価値観を大切にしながら、社会に新しい風を吹き込んでいます。私たちの役割は次世代が夢や希望を持ち、地域に誇りを感じられるような情報発信を行うことだと考えます。新聞・テレビ・ラジオ・紙媒体など幅広い層が慣れ親しんできた信頼性の高いメディアと日進月歩の成長を見せるソーシャルメディアの両輪で、「岩手を持つ魅力と可能性」を表現し、次代に伝えることが当協会の使命であると信じています。

新しい感性や視点を積極的に取り入れ、柔軟な発想と行動のもと、地域社会に必要とされる存在であり続けたいと考えます。会員各社が互いに学び合い、高め合うことで、新しい広告の価値をともに創り出していきたいでしょう。

## 就任あいさつ



岩手県広告業協会  
理事長 林 徹氏

本年6月をもちまして、代表取締役社長に就任いたしました。平成3年の開局以来、岩手の皆様に支えられ、来年には開局35周年を迎えます。私は開局当初、業務部門に配属され、編成・営業・IT系子会社などを経験し、直近10年間は営業統括として多くの皆様にお世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

ご承知のとおり、ローカル民放局を取り巻く環境は、人口減少、デジタルメディアの台頭、若者のテレビ離れなどにより、厳しさを増しております。しかしながら、視聴率の推移や私たちが開催するイベント来場者数を見るたびに、「打てば響く」という手応えを感じております。この「響き」こそが、地域社会から必要とされている証であると確信しています。

経営の多角化を模索しつつも、テレビ本業を基軸に、地域の声に耳を傾け、共に未来を描く姿勢を忘れず、岩手の魅力を再発見・再発信するメディアとしての役割を果たしてまいります。江戸時代、南部藩には近江商人もやってきて酒蔵や質屋を経営し、盛岡城下町の発展に貢献しました。彼らに伝わる「三方よし」という言葉を知る方も多いと思います。売り手は買い手のことも気づかい、さらには利益を社会に還元することが商売の基本だと。この「三方よし」の精神「売り手よし・買い手よし・世間よし」は、民放事業にも通じる理念であると考えております。会社事業で得た利益を地域に還元すべく、地域に根差した情報とエンターテインメントを、これからも誠心誠意お届けしてまいります。



岩手県エフエムエフエム  
代表取締役社長 岩手村 恵一氏

今年6月30日に、株式会社エフエム岩手の代表取締役社長に就任しました。大学卒業後はテレビ岩手に入社しアナウンサーとして30年、編成局長を2年務めた後、株式会社岩手広告社の副社長を経て現職に至りました。

これまでではテレビの世界で働いておりましたので、朝起きればすぐにザッピングを行って……気づけばリモコンのボタンの数字が消えかかっておりました。そんなテレビ中心の生活でしたのでラジオは車の運転中に聞く程度でしたが、エフエム岩手の社長に就任した後は知り合いから「いつもエフエム岩手を聴いています」という声が予想以上に多く寄せられました。SNSなどの発達でオールドメディアとも言われる時代ではありますが、私が思っていた以上にラジオの影響があるということを実感した次第です。今は、朝の出動前に音量を小さくしたテレビを見ながらラジオを聴くという「メディアの二刀流」で過ごしています。番組によって異なりますが、テレビは字幕スローバーが多いため画面を見れば内容はある程度分かるような気がします。その日のニュースなどをテレビで確認しながらラジオから流れて来る音楽をバックに朝食を食べたり身支度をしたりという毎日。なんだか一日のスタートがとても爽やかになったような気がします。

エフエム岩手は今年10月1日で開局40周年を迎え、それを記念しての公開生放送や公開収録、そしてトークイベントなどを展開しております。今後もFMの「素敵な音」で県民の皆様に関わりを与えられれば幸いです。

# 就任あいさつ



氏 志 克 杉 野 日 廣 告 社 長 代 表 取 締 役

このたび、株式会社岩手広告社の代表取締役社長に就任いたしました日野杉克志でございます。長年、営業の現場一筋に走り続けてまいりましたが、このたび社の舵取りを任されることとなり、身の引き締まる思いでいっぱいです。まずは、これまで岩手広告社を築き上げてこられた諸先輩方、そして日々支えてくださる多くのクライアント・媒体各社の皆さまに心より御礼申し上げます。

当社は創業以来、地元・岩手の企業や団体の「伝えたい想い」をかたちにする広告会社として歩んでまいりました。私自身、数えきれないほどの提案書を手し、クライアントの課題と向き合い、現場を走りながら広告の力を信じてきました。その中で痛感しているのは、どんな時代になっても「人の熱意」こそが広告の原点であるということです。

時代は大きく変わり、メディアの形も多様化しています。しかし、広告の本質は変わりません。人と人が心を動かす、共感を生む——その瞬間を生み出すのが、私たちの仕事です。これからの岩手広告は、地域に根を張り、現場力と提案力で勝負する「行動する広告会社」として、さらに挑戦を続けてまいります。



氏 行 俊 戸 企 画 社 長 代 表 取 締 役

今年6月27日にオリンピック企画の代表取締役社長に就任しました。

例えば、かなりアウトサイダーな人生を歩んできました。当時は珍しくなかった中学浪人を経て高校に入学。高校卒業後は4年間、海外で生活したり、バイトをしたりと放浪生活をしていました。そこで何を血迷ったのか、大学受験という暴挙に出ました。本当に運よく大学に合格して、何とか卒業した時には、人より5年遅れの27歳でした。

社会人のスタートは、NHKのディレクターで、その後、岩手朝日テレビ、めんこいテレビと3局をなぜかトラブルもなく(?) 渡り歩きました。60歳で、めんこいエンタープライズとめんこいメディアブレインの社長に就任、そしてオリンピック企画と、履歴書が一枚で収まらない感じが痛々しくもあります(笑)。

これまで報道・制作を中心に仕事をしてきたので、営業経験はほぼ無く、まだまだまっさらの状態です。そんな中、様々な人たちとお会いする機会が増え、大きな刺激を受ける毎日で、今日はどんな人に出会えるのかワクワクしながら生活しています。

オリンピック企画は皆さんに支えられて57年の広告代理店です。その社名の通り、友情や連帯感、フェアプレイの精神で地域社会の未来に貢献することを使命として邁進してきました。今後の状況が見通せない厳しい業界ともいわれていますが、設立の志を深く胸に刻んで仲間とともに頑張りますのでよろしくお願いいたします。



氏 介 洋 野 日 廣 告 社 長 代 表 取 締 役

このたび、2025年7月にKOHOMEDIA株式会社の代表取締役社長に就任いたしました。

私がこの会社に入社したのは、岩手の高齢化を見据えたシニア向け情報紙の立ち上げの時期でした。試行錯誤を重ねながら歩んできましたが、その際に創刊した「元氣をつくる情報紙シニアズ」も、おかげさまで10周年を迎え、地域に寄り添う媒体へと成長してまいりました。

シニア向け情報紙、広報、映像、デジタルなど、多様なメディアを通じて地域と企業、人と社会をつなぐ橋渡し役を担うことができたのは、関係各社をはじめ、支えてくださった皆さまのおかげだと感じております。



氏 也 達 本 企 画 社 長 代 表 取 締 役

今年2月に就任しました。これまで新潟、仙台、福島、山形の各支社営業部門を歩んできました。振り返ってみると「酒どころ」の勤務が多いのは、私の嗜好を会社が考慮して異動させているのでは? と自分勝手な分析をしています。

さて、弊社は社名が示す通り旅客鉄道会社のグループ企業であり、インハウス事業、駅や車両内の広告媒体業務をはじめ、所謂総合広告代理業を営んでいます。やはり「旅」にまつわる業務に多数携わっています。新幹線車載誌のランヴェールも取材から編集まで手掛けています。ニューヨーク・タイムズ紙に盛岡が紹介されたのも記憶に新しいところですが、確かに駅周辺は大きなスツケースを持ち運ぶ多くの訪日外国人を目にします。今夏、家族を盛岡に呼びつなぎ温泉に宿泊した時も外国人宿泊者が数多くいました。

こうしてみると岩手のインバウンド施策は順調と思っていますが、観光庁の外国人延べ宿泊統計(今年7月累計)によると、全国の90,496千人に対し東北6県で1.6%、岩手県においては僅か0.3%弱となっています。一方、前年比では130.5%と青森、秋田に次ぐ伸びで、関東、関西圏よりも高い伸び率となっています。まだまだ伸び代が大きく消費単価が高いインバウンドは地域経済への波及効果が期待されることから、地域、各業界の方々と一緒に岩手を元気にする取り組みに引き続き汗を掻いていきたいと思います。

弊社オフィスがあるJRビル屋上から眺める岩手山は絶景です。私も30年前に登りました。この山くらいどっしりと高い志を持って地域に貢献していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 新会員紹介



アイ  
ー役 藤 栄 樹 氏  
版取 縮  
表 後

今年8月に入会させていただきました、活版ディーアイ株式会社代表の後藤栄樹と申します。

弊社は、社名でお気付きかと思いますが、元々は活字から始まった印刷屋（石鳥谷印刷）です。私で3代目となります。19年前に父からバトンを受け取った際に広告代理店の機能を果たせる制作会社にしたという想いで、新しい社名は、限定されるイメージの「印刷」を取り、創業者らを

顕彰した「活版」を頭文字にしました。DIは、ドキュメントインフォメーションの略で、「取り扱いのご案内」という造語です。現在では、印刷会社でもあり、広告代理業や映像制作、イベントも行う曖昧な業態で、お客様の要望なら、なんでも応える「便利屋」となっております。

最近、営業しながら思う事は、「広告」という言葉に限定的なイメージ、狭い範囲の違和感を感じております。宣伝だけではなく、お客様の悩みを聞き、構想段階から企画に携わり、業務全体をデザインできるような、「コンサルティング」をテーマに取り組みたいと考えております。

簡単な事ではないと思いますが、皆様からのご意見やご指導をいただき、もがき苦しみながら、この時代を強く、精一杯生き抜きたいと思っております。

## 就任あいさつ



社長 久 賢 氏  
社 役 関  
告 縮  
取 表  
合 表  
総 代

昨年10月より、代表取締役社長に就任いたしました。初めにこの場をお借りしまして、日頃より格別のご支援を賜っております皆様に深く感謝申し上げます。

入社して以来、青森支社で広告営業を担当しております。入社当初は、未経験の広告業、未経験の法人営業を私ができるのか、不安があったことを思い出します。

というのも、私が一番苦手としている仕事こそ「営業」と言えます。

まず、口下手で無愛想な上、緊張で言葉に詰まり思ったことを伝えられないことなど数多くあります。それでも続けてこられた理由は、お客様から「ありがとう！頼んで良かったよ！」と言っていただけなこと、その1点に尽きます。私がお客様や地域社会に、ほんの少しでも貢献できたのだと実感できたこと。私たちの提案が、間違いなく社会に貢献できるものだと思えたこと。その確信さえあれば、自信を持って今の仕事ができると気がついたこと。これが今の自分を支えております。

そんな私ですが、現在は「広告の力で人と人、人と社会をつなぐ」仕事をしております。主に求職者と求人企業を繋げることや、医療・住宅などの情報を必要な方にお届けすることに腐心しております。

私の、職業としての仕事は広告業ですが、その仕事を通じて「人に喜んでもらいたい、人のためにになりたい」という想いがあります。そのために全力でお客様や社会ニーズに向き合う。その生き方こそが私の仕事だと胸を張って言えるよう、日々汗をかくていく所存でございます。

これからも宜しくお願い申し上げます。

## 事業報告

### 岩手県広告賞表彰式

第56回岩手県広告賞の表彰式が8月5日、盛岡グランドホテルで行われました。受賞者や制作者約90人が出席し、岩手県広告協会の川村公司会長らが賞状や副賞を手渡しました。

岩手町・普代村・西和賀町観光協会とともに「グラフィック・屋外広告の部」で岩手県広告賞知事賞を受賞した岩泉町の中居健一町長は作品「訪日観光客用 町村PR折り紙」について「行政と民間がそれぞれ持っている情報や経験を生かしワンチームになって取り組み、素晴らしい折り紙ができた」と謝辞を述べました。



### 岩手県広告協会 合同ゴルフ大会

北東北読売・S 中野氏が優勝！

岩手県広告協会・岩手県広告業協会合同第34回親睦ゴルフ大会が、9月17日に、安比高原ゴルフクラブを会場に開催されました。両協会から25名が参加、熱戦を繰り広げました。

大会結果は、中野廣美氏（北東北読売・S）がグロス98、ネット70・4で優勝。上位は次の通り（グロス、ネットの順）。準優勝 佐藤慶勝氏（岩手日日新聞社）（84、72・0）3位 小原文幸氏（テレビ岩手）（91、73・0）ベストグロスは84で回った甘竹明久氏（読売岩手広告社）。



### ビアパーティー開催

毎年恒例の岩手県広告業協会主催「納涼ビアパーティー」が、令和7年8月25日（月）ホテルメトロポリタン盛岡NEW WINGにて、37社から136名のご参加をいただき開催されました。アンダーエイジの司会により会は進行。冒頭の林理事長の挨拶の後、新役員の紹介があり、特別賛助会員を代表して岩手日報社取締役執行役員総合ビジネス局長鈴木淳様からご挨拶をいただきました。

岩手めんこいテレビ取締役営業編成局長櫻克宏様の乾杯でパーティーの幕が開けました。アトラクションは、昨年度に引き続き、この業界の未来を担うニューフェイスの皆様をはじめ19名の方々に登壇いただき、アンダーエイジとの掛け合いで会場を盛り上げて頂きました。新役員体制になって初の公式事業、また今夏の猛暑を吹き飛ばす盛り上がりのある事業となりました。



# 事業報告

## 全国広告業団体 連絡会議

## 第27回東北ブロック会議いわて大会

## 〜岩手から世界へ発信 人・もの・食の可能性を探る〜

10月31日（金）に第27回東北ブロック会議いわて大会が「〜岩手から世界へ発信 人・もの・食の可能性を探る〜」をテーマに開催されました。当会議は東北各県の広告業協会が持ち回りでを行い、昨年の福島大会に続き、今年度岩手での開催です。

盛岡駅西バスターミナルから岩手県北バスのヘラルボニーのラッピングバスに搭乗し、最初の施設見学先の花巻市「K.O.H（King of the Hill）」に向かいました。この施設は、メジャーリーグの菊池雄星投手がプロデュースし、花巻市に整備した複合型野球施設です。

広報の山田理様より施設のご案内、菊池選手のK.O.Hに対する思い等、詳しく、熱く、ご説明をいただき、有

名メジャーリーグのサインボール、菊池選手が実際に使用していた野球道具の展示などを見学、メジャーリーグ水準の世界最先端のトレーニング機器を体験させていただきました。見学後隣接する日居城野運動公園敷地内の花巻ゆかりのメジャーリーグ記念モニュメントを見学、グラウンドでは来年度の選抜大会出場を決めた花巻東高校野球部が練習を行っており、各県の参加者のみなさんも、興味深々のご様子で見学していました。

花巻市を出発後、次の見学施設である「株式会社ヘラルボニー」初の旗艦店である「HERALBONY IS AI PARK」へ向かいました。株式会社ヘラルボニー代表取締役CEO松田文登様より施設のご案内を

して頂きました。契約作家小林覚氏のデザインを採用した、岩手の新米「白銀のひかり」のロゴマークの思いや、岩手を本社にしている意義などをご説明いただきました。

その後、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて、株式会社ヘラルボニー代表取締役CEO松田文登様を講師に「異彩を、放て。」を演題にご講演を頂きました。

講演会終了後のレセプションパーティーには、県外から22名、県内は各メディア各社からの来賓を含め40名が参加。岩手広告協会会長・岩手日報社代表取締役社長の川村公司様からご祝辞を頂き、世界一を受賞したベアレンビールを片手に、株式会社岩手めんこいテレビ代表取締役社長 高嶋昇様か

ら乾杯のご発声を頂きました。パーティーでは各県の交流や情報交換などが交わされ、アトラクションとして、ミスさんによる盛岡さんさ踊りの演舞が披露されました。その後、東北各県協会よりご挨拶を頂き、次回開催県の青森県広告協会理事長の目下稔様より中締めをしていただき、岩手大会を無事終了することができました。

今回の東北ブロック大会で、岩手から世界に発信として、人・メジャーリーグ・菊池雄星選手・大谷翔平選手、もの・ヘラルボニーのプロダクト、食・ベアレンビールと東北各県協会の皆様にお伝えすることができたのではないかと思います。

# お知らせ

新年交賀会

■日程／令和8年1月13日(火) 18:30～

■会場／ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング4階

